

カメラ まちの出来事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



たかはしお城まつり

(4月23日 備中松山城・城見橋駐車場)

「第1回たかはしお城まつり」(同実行委員会主催)が同城一帯で行われ、約15000人でにぎわいました。

ふもとの会場では、地元各種団体のステージや備中松山藩鉄砲組などによる勇壮な火縄銃空砲演舞、赤穂市の大名行列が行われました。

臥牛山上の同城二の丸会場では、平川渡り拍子保存会が華やかな舞いを披露(今月の表紙)。また、伊賀忍者ショーや地元ヒーロー・ピッチュマンショーもあり、観客らは城下町高梁の新たな行事を満喫しました。



勇壮かつ華麗な舞い

(4月30日 日名交流館かぐら)

江戸後期に現在の備中神楽の基礎を確立した西林国橋を顕彰する「国橋まつり大神楽大会」が開かれました。県内外の名神楽太夫による熱演に、訪れた神楽ファン約1000人は、迫力ある舞いに見入っていました。館外では、地元団体によるバザーもあり、にぎわっていました。



きれいな自然を子どもたちに (5月3日 中井町佐伏川)

ゴールデンウィーク恒例となった「清掃とマス釣り大会」(同町清流を守る会主催)が開かれました。市内外から家族連れ約400人が参加。豊かな自然を残すことがねらいで行われたこの行事では、事前に川の清掃を行い、きれいになった河原にニジマスとヤマメ計3500匹を放流し、釣りを楽しみました。

弥高山の自然を満喫 (4月30日 弥高山公園)

弥高つつじ祭実行委員会と川上町観光協会の主催で「弥高つつじ祭」が開かれました。野外ステージでは子ども神楽や、キャラクターショーなどが行われ、特産品うまいもの市ではこんにやくや山菜おこわなどの販売がありました。訪れた行楽客らは、つつじに彩られた弥高山を満喫していました。また、4月14日にオープンした食堂施設「一休やたか」では地元の食材を使ったメニューが人気を集めていました。



市民と学生の交流拠点完成 (4月16日 吉備国際大学)

市民と学生の交流拠点の広場として、吉備国際大学のキャンパスに「KIBI SQUARE開空^{かいくう}」が完成しました。オープニングイベントには、市民や学生約300人が訪れ、同大学生による吹奏楽やダンスの披露、市内団体による備中神楽などが行われました。今後広場は、市民に開放されるほか、学生が交流イベントを企画して、市民との交流を図っていきます。

観光周遊バス運行 (4月29日～5月7日 石火矢町・成羽町吹屋)

ベンガラのまち「吹屋」と武家屋敷通りをはじめとする「石火矢町」2つのふるさと村を巡る観光周遊バスが運行されました。

期間中、県内外から285人が利用。現地ガイドの案内に耳を傾けながら、情緒あふれる町並みを、思い思いに散策していました。

